

続 このままでいいの？

# 再生可能エネルギーの進め方

## —大型風力発電、小型風力発電、バイオマス発電

地球温暖化対策として期待されてきた再生可能エネルギーですが、様々な問題が見えてきました。大型風車の健康問題に関しては、環境省が（超）低周波音による健康影響を否定した「指針」と「マニュアル」を出したことによりアセスの後退が予想されており、すでに本州では内陸に外資等による洋上クラスの超大型風車複数の計画が多数見られます。売電価格が高い太陽光発電と小型風車に群がる事業者。固定価格買取制度は単なる金儲けの手段と化してしまいました。このまま再生可能エネルギーを進めていって、かけがえのない自然や私たちの健康を守ることができるのでしょうか？ 大型風車による低周波音被害や自然破壊とどう闘っていくのか実際の司法の現場のお話もお聞きして、再生可能エネルギーの暗部の実態に迫っていきます。

- 4月25日（水）開講 全6回 月1回水曜 18:45～20:45
- 会場 さっぽろ自由学校「遊」（愛生館ビル5F 501）
- 受講料 一般 6,000円 会員 4,800円 ユース 2,400円  
（単発 一般 1,500円 会員 1,000円 ユース 500円）

現地見学会も  
予定しています



### 4月25日（水）第1回

#### 低周波音による健康影響と石狩湾新港 周辺風力発電3事業の影響評価

- 田鎖 順太（たぐさりじゅんた）  
北大大学院工学研究院助教

低周波音によるめまい・頭痛などの特異的な症状についてその生理学的機序を解説していただき、稼働中および建設中の巨大風車による健康影響について学びます。

### 5月23日（水）第2回

#### 石狩湾新港エリアに集積する各種発電所の 実態と、大型風力発電アセスの限界

- 安田 秀子（やすだひでこ）  
石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会代表

171万kWの北電LNG火発、8万kWの北ガスLNG火発、大型風力発電4事業、バイオマス発電など問題点を含めて紹介。石狩市内で増加中の小型風力発電の状況も紹介。大型風力発電のアセスの限界について考えます。

### 6月27日（水）第3回

#### 稚内における小型風力発電と条例、 固定価格買い取り制度について

- 佐々木 邦夫（ささきくに）  
稚内在住、稚内の風力発電を考える会 代表

急速に開発が進む大型・小型風力発電の状況についてお話していただき、固定価格が下がる前に申し込みが殺到している小型風力発電事業と固定価格買取制度について学びます。

### 7月25日（水）第4回

#### 風力発電被害とどう闘っていくのか、 法的手段の可能性と課題について

- 市川 守弘（いちかわもりひろ）  
弁護士

風車の低周波音被害、自然破壊などに法的手段を用いて、住民の健康被害救済、自然保護の方策を探ります。

### 8月29日（水）第5回

#### 風力発電による野鳥の被害と影響

- 猿子正彦（ましこまさひこ）  
日本野鳥の会札幌支部副支部長  
石狩湾岸の野鳥や野鳥の渡りなどを紹介していただきながら、風力発電による被害状況を学びます。

### 9月26日（水）第6回

#### 大型木質バイオマス発電とその課題 —紋別の事例をもとに

- 小泉 雅弘（こいずみまさひろ）  
NPO法人さっぽろ自由学校「遊」事務局長
- 山形 定（やまがた さだむ）  
北海道大学工学研究院教員

紋別市では2016年末より大型の木質バイオマス発電所（出力50MW）が稼働しています。森林資源の有効活用と謳われていますが、そもそも持続可能なのか？ 地元先住民族や生物多様性保全に与える影響は？ など、皆さんと一緒に考えたいと思います。